

株式会社ネクスグループ

グループ再編についての補足資料

2019年7月10日





グループ再編の ポイント

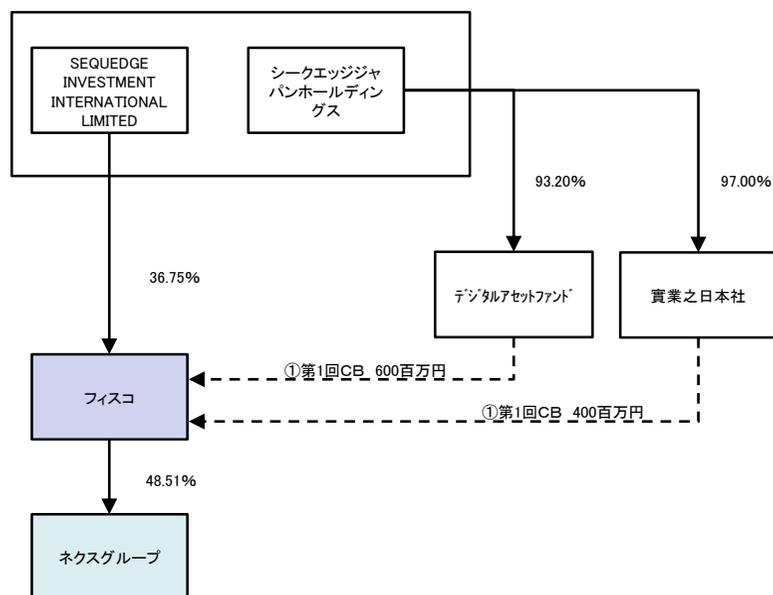
親会社の異動および、第三者割当てによる普通株式(デット・エクイティ・スワップ(DES))の引き受けのポイント

- 親会社の異動(見込み)(2019年7月8日開示)
支配株主がいなくなったことで、
 - ・資本業務提携の自由度が広がる
 - ・機動的な経営が可能

- 第三者割当てによる普通株式(DES)の引き受け(2019年7月10日開示)
フィスコに対する債権を、株式に転換することで、
 - ・利息収入ではなくキャピタルゲインの期待
 - ・償還期限を待たずに資金回収が見込め、次の投資に利用できる

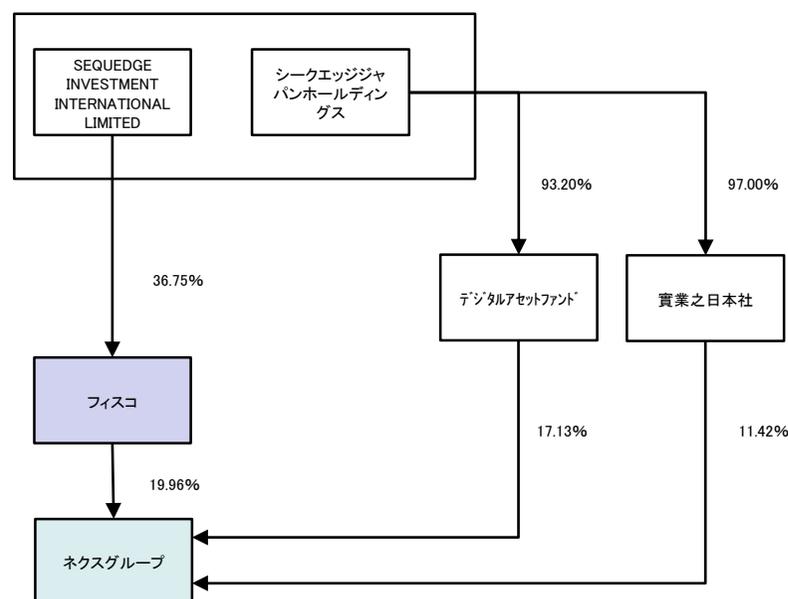
親会社の異動について

親会社の異動以前の資本関係



①フィスコ発行のCBの買入消却の買入対価をネクスグループ株式の売却代金を相殺

親会社の異動後の資本関係

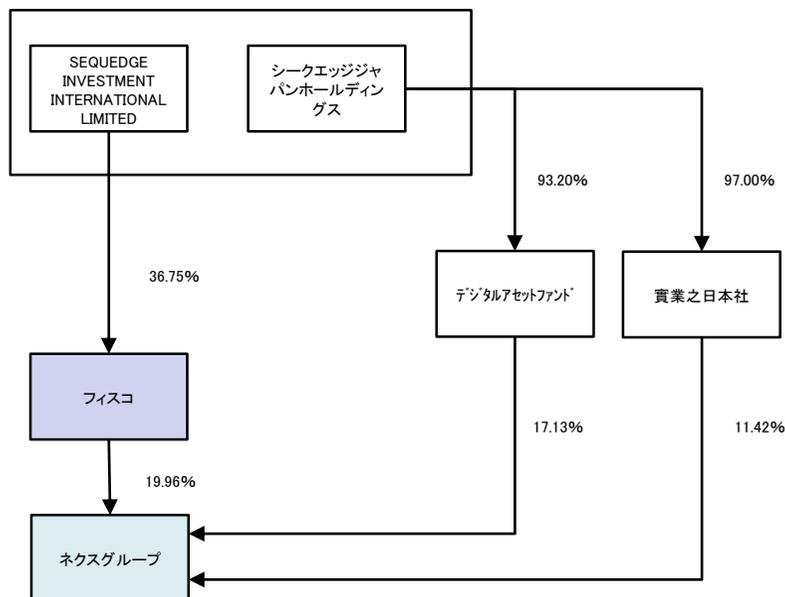


支配株主がいなくなることで、今後の事業展開に必要なパートナーとの資本提携や業務提携が締結しやすくなる

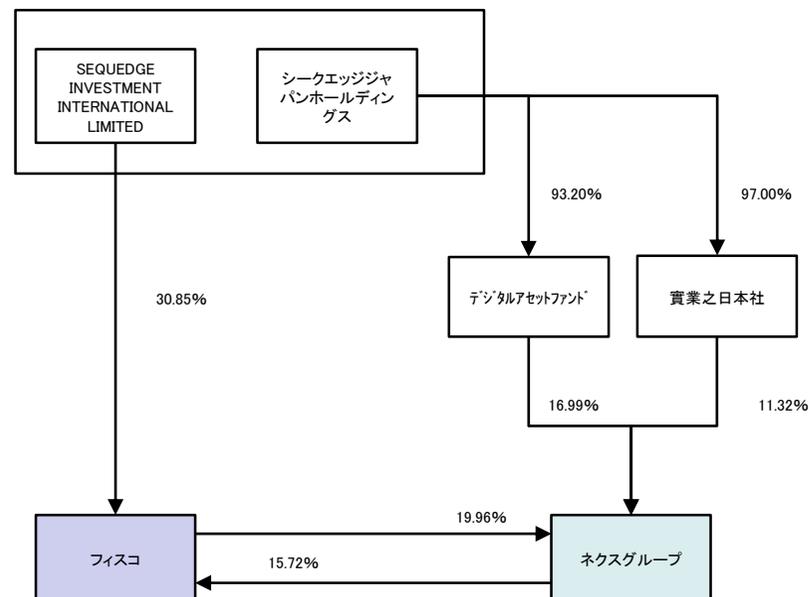
一方でフィスコとの業務提携は維持しつつ、発展的な事業展開や業務提携など経営の自由度が高まり、さらに機動的な経営が可能に

第三者割当てによる普通株式(DES)の引き受け

第三者割当てによる株式引受前の資本関係



第三者割当てによる株式引受後の資本関係



フィスコの財務内容の改善、主力とする暗号資産関連事業のポテンシャルを評価
金利収入をはるかに超えるキャピタルゲインを期待

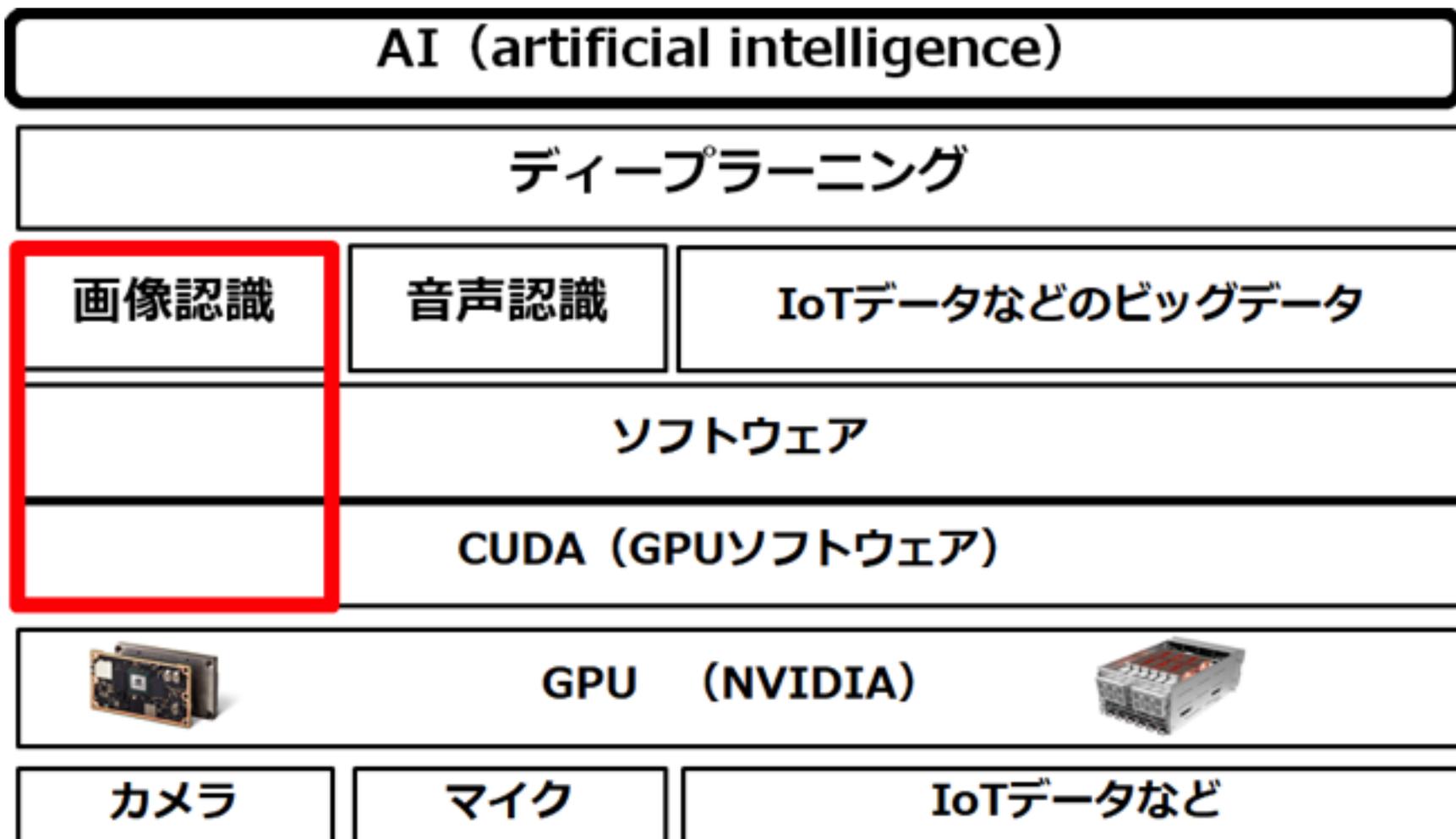
貸金償還期限(2020年12月、2022年1月)を待たずに資金回収が可能で、今後の
事業投資を早期におこなえる

今後の取り組み

現在の取り組み: AIの目となる画像認識分野への取り組み

GPUが飛躍的に発展させたAI市場に取り組む

自動運転などにも使われる画像認識を使ったAIの目となるソフトウェアに取り組む



現在の取り組み：画像認識分野からの展開（ソフトウェア開発）

デバイス開発で培った組み込みソフトウェア開発を応用し、将来的に画像認識のソフトウェアを組み込んだデバイス機器開発に繋げる

- 画像認識アルゴリズムをコード化するソフトウェア
- GPUの並列処理ソフトウェア（CUDA）
- カメラ、ネットワークのドライバソフトウェア

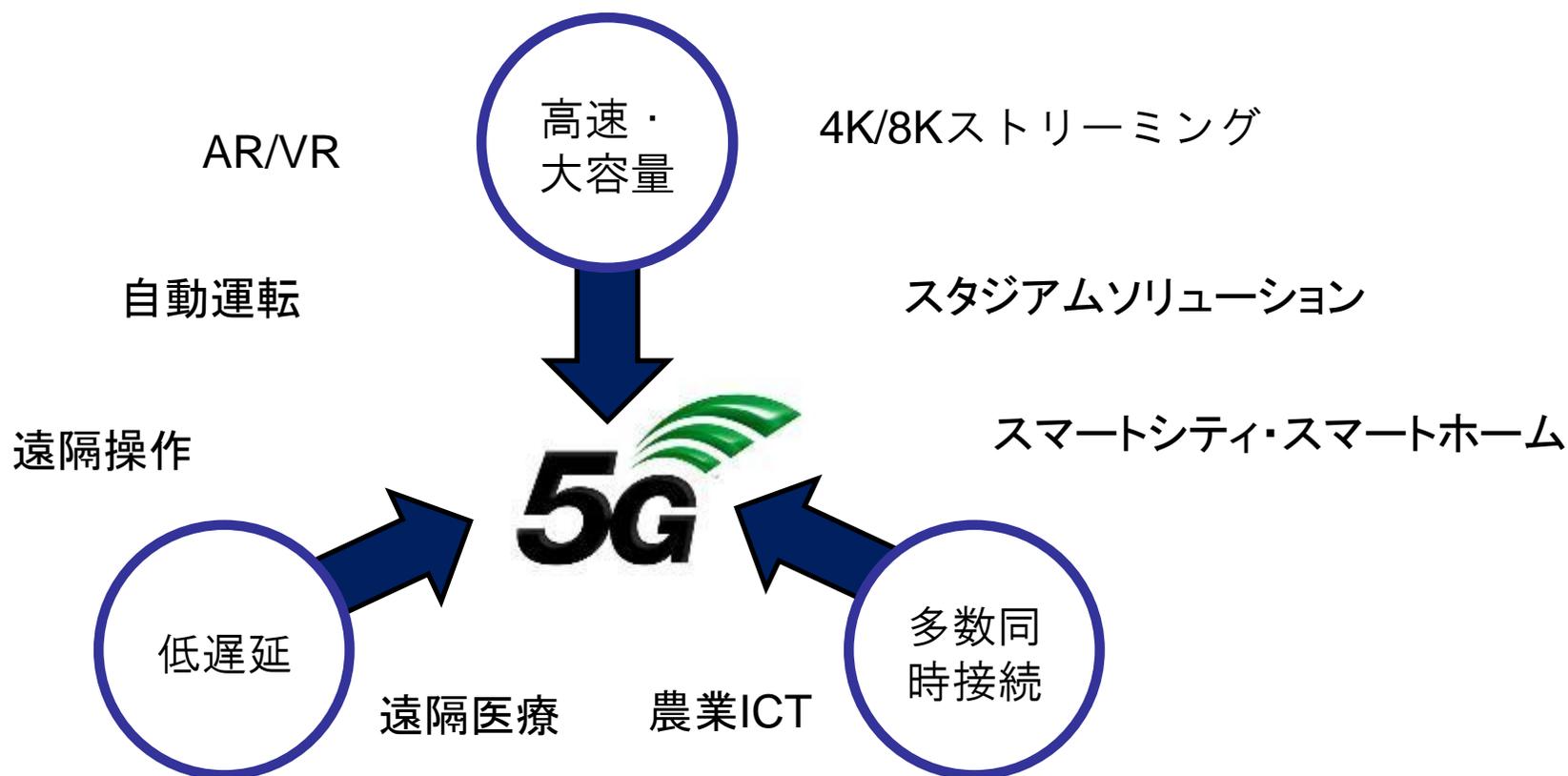
⇒ NCXXが得意とする組み込みソフトウェア開発、並列処理設計を応用

- 工場ライン、精密加工機器：製造異常、異物などの検知、など
- インフラ、流通・小売：劣化検知、交通量把握、空席検知、仕分け、など

⇒ NCXX、NCXX-SLの製造業、流通業、自動車関連の取引先

今後の取り組み: 5G関連製品の開発

高速・大容量化を実現するとともに、多数同時接続、超低遅延といった特徴を持つ5Gは、2020年春頃から商用サービスを開始と報道されている



今後の取り組み:5G+画像認識のサービス開発

5G分野のサービス提供に必要な開発投資、アライアンス先との提携をすすめ、早期のサービスインを目指す

ネクスの強み

- ・BtoB向け通信アダプタ・モジュールの組込み実績
- ・様々な産業への導入実績

5Gの新たな技術を、建設機械など高画質映像を活用したリアルタイムな遠隔操作や、各種機器の制御、ビッグデータ収集などで利用する「5Gモジュール搭載製品」や「ディープラーニングの画像認識技術を組み合わせたソリューション」などの企画を強化するとともに、アプリケーションサービスにも取り組んでいく

5G活用例

ネクスの取り組み範囲



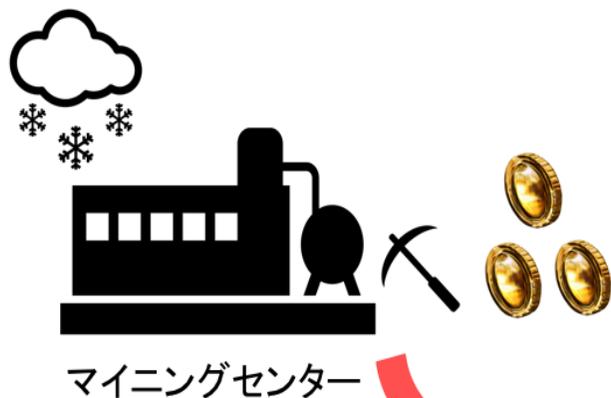
今後の取り組み：マイニング事業の展開

引き続きフィスコグループとの協業関係を継続することで、暗号資産に関する知見とマイニングのノウハウを蓄積

将来的な事業へのフィードバックし、トータルで収益化できるモデル作りをおこなう

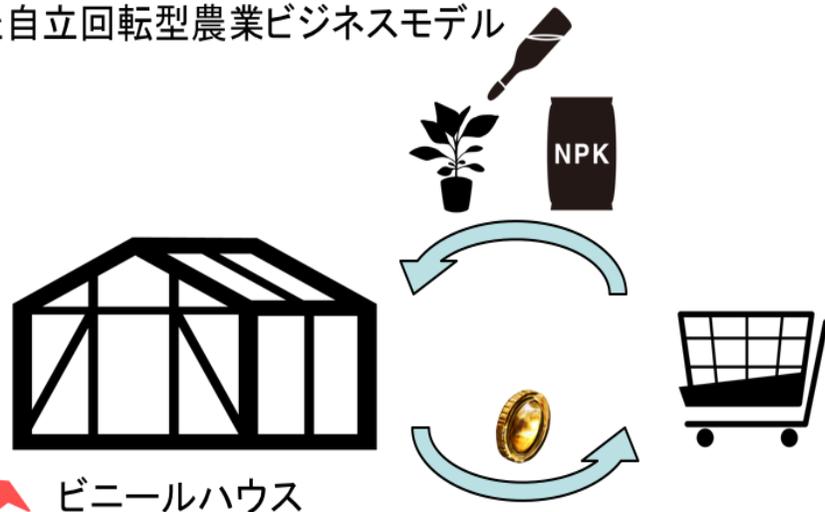
マイニングセンターに適した条件

- ・岩手県という寒冷地
- ・遊休資産の活用
- ・再生可能エネルギー（風力、地熱）のポテンシャルが高い（将来的に活用を検討）



事業へのフィードバック

- ・排熱を利用し暖房コストをダウン
- ・将来的にはマイニングしたコインを利用した自立回転型農業ビジネスモデル



マイニングセンターの排熱を
ハウスの暖房に利用

コインを利用して苗や
肥料などを購入